

3 成果指標

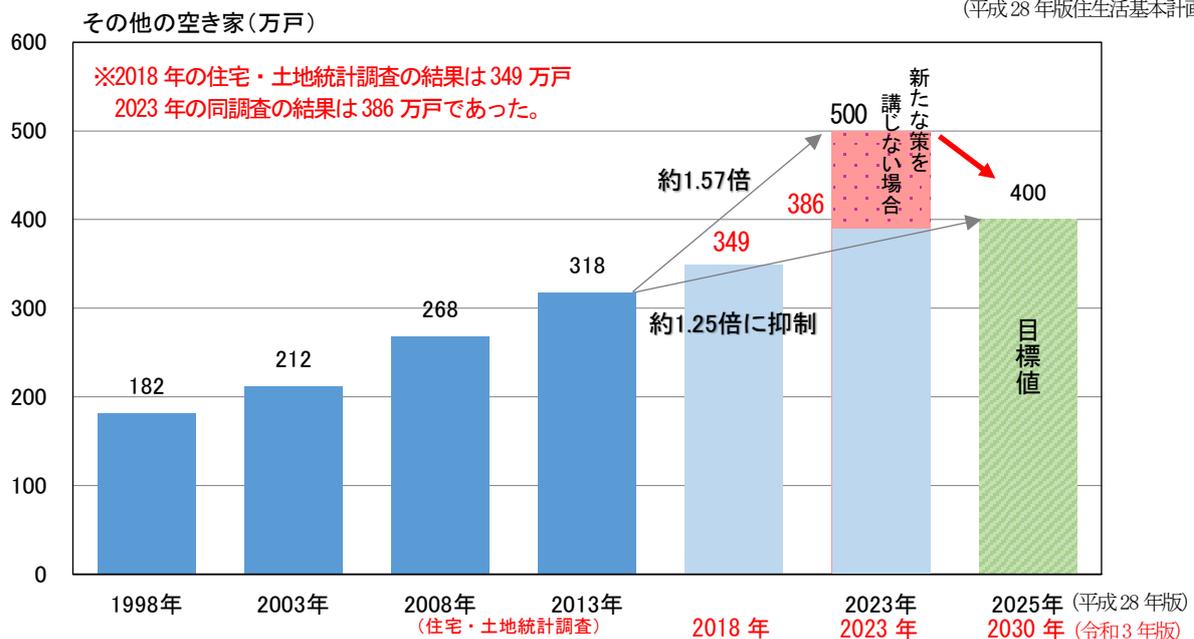
基本的な方針及び空家等対策の方向性の達成度合を定量的に確認するため、住生活基本計画（全国計画）に示している空き家に関する成果指標を参考にして、本計画の目標値を以下のとおり設定します。

【全 国】

- ・その他空き家数 318 万戸（2013 年）→ 400 万戸程度に抑制（2025 年）（平成 28 年版住生活基本計画）
349 万戸（2018 年）→ 400 万戸程度に抑制（2030 年）（令和 3 年版住生活基本計画）

※新たな施策を講じない場合、2023 年には 500 万戸程度になると推計されている。

（平成 28 年版住生活基本計画）



図表 4-1 全国のその他の空き家の実績値、予測値、目標値（住生活基本計画〔全国計画〕）

【刈谷市】

推計値

- ・空き家率：8.5%（2013年）× 1.57 = 13.34% → 約13%
- ・空家等件数：377件（2016年）× 1.57 = 591.9件 → 約590件



目標値

- ・空き家率：8.5%（2013年）× 1.25 = 10.63% → 10%程度
- ・空家等件数：377件（2016年）× 1.25 = 471.3件 → 470件程度

空き家発生ストップ！住宅ストック活用！

項目	現状値	推計値	目標値(2028年)
空き家率	8.5%(2013年) 〔7.6%(2018年) 10.6%(2023年)〕	約13%(2023年) (当初推計値より 減少している。)	10%程度に抑制
空家等件数	377件(2016年) 〔291件(2019年) 267件(2022年)〕	約590件(2026年) (当初推計値より減少 すると想定される。)	470件程度に抑制

第5章 基本的な施策

本計画の基本的な方針の実現に向けて、空家等対策を総合的かつ計画的に推進するため、空家等対策の3つの方向性を踏まえ、4つの基本的な施策を以下のとおり示します。

施策 1

空家等の実態把握

- 1 定期的な空家等の実態調査の実施
- 2 空家等に関する情報の収集・更新



施策 2

空家等の発生抑制・適正管理

- 1 市民・自治会等に対する意識啓発
- 2 所有者等に対する意識啓発



施策 3

空家等の有効活用

- 1 住宅ストックとしての流通促進
- 2 地域活性化に資する施設としての活用促進



施策 4

管理不全空家等及び特定空家等に対する措置

- 1 管理不全空家等及び特定空家等の判断
- 2 管理不全空家等及び特定空家等に対する措置の実施

